

湖都通信

看護学科版

08

Coto Tsushin
[Nursing subject Version]

2022. 3. 1

滋賀医科大学同窓会「湖医会」



CONTENTS

会員からのたより	奥村智子・松田奈美子・杉江亜希子 上野友大・能 あんず	2
恩師からのたより	安藤光子	7
看護学科交流会	交流会班	8
キャンパス情報	津田知子・山下 敬	10
訃報		13
事務局から	総会議事録 ほか	16

「点→線→丸→？」



奥村 智子(旧姓加藤)(看1期)

この度は、光栄にも寄稿文のお声がけを頂きありがとうございます。

「発展」という言葉を卒業アルバムに頂き、看護学科を巣立ってから20数年が過ぎようとしています。現在は愛知県に住み、自治体で助産師、保健師として母乳相談や発達相談、乳幼児健診などを担当しています。また、名古屋市の虐待防止事業にも関わっております。

学生の頃は、まさか自分が助産師になるとは夢にも思っていませんでした。それが、かれこれ20数年を母子保健・医療の分野に身を置くことになったのは、意外でもあり、人生わからないものだなあと改めて感じます。

最初はママと赤ちゃんだけをみていた20代。「視野を広く!」「家族まるごと見て!」と頭では意気込んでいましたが、経験も浅い頃はどうしても点でしか母子を捉えていなかった気がします。それが、自身の人生も変化し、臨床から地域へ、角度をかえて関わることになった30代、40代。おのずと、女性の生き方を線と感じ、それを取りまく社会はどんな丸だったらいいのだろう、と考えられるようになってきました。

だからと言って、大きく立ち位置を変えるのではなく、やはり私が大切にしたいのは、いわゆる『現場』です。育児相談や、虐待防止の仕事、自身の思いとも重ね合わせた時に、つくづく思うことは、「誰かひとり、ゆったりとこの方の声に耳を傾けてくれたら」、「誰かがひととき、この方と一緒に過ごしてくれたら」ということです。微力ではありますが、私がそんな存在になれていますように、との思いを

胸に、日々のお仕事に励んでおります。

先日は、ひよんな流れで小学生の息子二人と自然分娩の写真集を一緒に見ました。「うおー!!」「出てるー!」と、大変率直な感想(笑) そうだなあ、男性の思考って、文化って…? 家族がやさしい丸になるには、男性側の視点も大切だよな。彼らにも色々学ばせてもらいながら、自身の知識も力量もアップデートし、「発展」していきたい、そんな想いも抱いたひとときでした。

末尾になりましたが、滋賀医大に関わる皆様のご尽力に御礼を申し上げますとともに、皆様のご健康と、ますますのご活躍を祈念して終わりの言葉とさせていただきます。



人と人とのつながりを大切に



滋賀医科大学附属病院 看護部 患者支援センター
松田奈美子(看7期)

卒業後に滋賀医科大学医学部附属病院に就職してから、十数年が経過しました。約3年前に脳神経内科を含む内科の混合病棟から患者支援センターへ異動となり、主に脳神経内科の退院調整を担当しています。院内では、医師、病棟・外来看護師、セラピスト、医療社会福祉士、管理栄養士、臨床心理士等の多職種チームで患者さんの退院支援に取り組んでいます。患者さんの個別性に応じて、一人一人と丁寧に関わり、その関わりを振り返り学ぶ姿勢を大切にしています。患者さんにご家族の思いに寄り添えるように、院内スタッフと地域支援者の方々をつなぐ架け橋になればと思っています。

また、退院調整との兼務で、「難病医療コーディネーター」としても携わっています。当院は滋賀県からの委託事業で「滋賀県難病医療連携協議会」の運営を担っています。難病医療提供体制整備事業の推進を目的に、滋賀県庁と連携しながら、関係機関との連携体制の構築を図っています。具体的には、院内に限らず、滋賀県全体の難病患者さんに視野を広げて、在宅医、病院、保健所等との連絡調整や研修会開催等を実施しています。看護師にしかできないこと、難病医療コーディネーターとして何ができるのかを日々模索し続けています。就職時には、このような任務を担うとは想像もしていませんでしたが、貴重な経験をさせてもらっていると感じています。

大学生の頃から滋賀県で過ごすことになり、気がつけば人生の約半分を滋賀県で過ごしてきました。コロナ禍の影響もあり、県内で、家庭内で、どの様に過ごすかを考えることが増えました。家族と過ごす中で、自然が多く四季を感じる滋賀県の魅力に、はまりつつあります。これからも子供達の好奇心を大切にしながら、新たな魅力を発見していけたらと思っています。

そして、患者さんやご家族が滋賀県に魅力を感じながら、望む療養・生活ができるように、院内外の方々これからも連携して、退院調整看護師と難病医療コーディネーターの両方の立場からできることを一つずつ実現していきたいと思っています。



卒後 10 年目となった今



滋賀医科大学附属病院 看護部 5A病棟
杉江亜希子 (看16期)

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。

2013年3月に卒業しました、16期生の杉江亜希子と申します。この度はこのような機会をいただきましたこと、この場をお借りして湖医会事務局の方、看護学科の川原瑞希先生に感謝申し上げます。

私は卒業後、滋賀医科大学附属病院のICUに6年間勤務し、現在は5A病棟(小児科)に勤務しています。小児科に勤務しはじめて3年目となりました。決して病気が治って、元気に家に帰れる子どもたちばかりではなく、時に辛く厳しい現実を前にして、やるせない気持ちになることもあります。それでも一所懸命に病氣と闘って、遊んで、成長していく子どもたちの姿に、自分が下を向いている場合ではないと励まされている日々です。

入職からもうすぐ10年になります。これから自分はどうしたいのか、どうなりたいのかを考える中で、大きなきっかけとなったのは上司の「自分にとっての金ピカはなんなのかを考えなさい。」とい

う言葉でした。私にとっての金ピカは1年目の頃から変わらず、患者さんの状態の悪化や度重なる緊急入室・手術といった大変な状況でも落ち着いて、患者さんやその家族、チームのスタッフを支えていた先輩看護師の方々の姿でした。後輩と働く機会が増えたいま、これからは自分が周りに安心感を与えられる存在になれたらと思います。子どもから大人まで、急性期にある患者さんへの医療・ケアをより専門的に学ぶため、この4月からはクリティカルケア認定看護師の教育課程に通います。

コロナ禍に見舞われて、今まで過ごしてきた日常がいかに有り難いものだったのかを改めて気付かされました。仕事ばかりではなく、家族や大切な人たちとの時間を大切に、日々を丁寧に過ごしていきたいと思います。

末筆とはなりましたが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、会員からのたよりとさせていただきます。



自分にできることは何か ～交換留学を通して～



滋賀医科大学附属病院 看護部2C病棟
上野 友大(看20期)

こんにちは。私は現在滋賀医科大学附属病院で看護師として働かせていただいています。私が就職し勤務する中で大学時代の経験が活かされる場面が多々あり、その一つとして滋賀医科大学看護学科を卒業する前にマレーシアに交換留学に行ったことが挙げられます。そこで異文化交流や他国の医療に触れることができました。私は勉学において多少英語は得意と自負していましたが、現地では英語を聞き取るのに苦労しました。そこで悲観的になっていたところ、現地の方々はわかりやすい英単語を優先して使ってくれて、気にしないでいいよと優しい声掛けをしてくれました。マレーシアは多民族国家であるため、その国民性としてフレンドリー、楽天的等が挙げられます。私は不安になりやすい性格のため、マレーシアの国民性に助けをもらいながら、楽しい時間を過ごせました。

交換留学によって自分の視野が広まると同時に、

その国民性は自分にとって必要なものだと考えました。私は緊張しやすくミスもしやすい性格です。しかし交換留学をきっかけに自分に足りないもの、自分がしてもらって嬉しいことを考えるようになりました。そのような姿勢で取り組み続けたこともあり、多くの患者さんから「あなたは他の看護師よりも話しやすい」、「同じ様な性格だから何でも相談できる」など嬉しい声を沢山頂きました。100通りの看護師がいれば100通りの患者さんの力になります。経験年数が少なくても、その患者さんにとって必要な看護師がいることは患者さんにとって、とてもありがたい存在であり、今後も自分にしかできない看護を実践し続けようと考えました。

学生時代でも社会人になってからでも経験を積み、個性のある看護師、引いては医療者を目指していただけたら幸いです。



看護師 2年目となって



滋賀医科大学附属病院 ICU看護師
能 あんず (看23期)

私は2020年3月に滋賀医科大学を卒業後、滋賀医科大学附属病院に看護師として就職し、現在に至ります。毎日覚えることばかりの日々を送り、早くも2年目の後半に差し掛かりました。

私が新人看護師として配属されたのはICUです。ICUは超急性期の患者さんが入院しており、たくさんのモニターやドレーン、点滴、人工呼吸器など、管理が必要なものが多いうえにバイタルサインを含めた患者さんの全身管理も行っていかななくてはなりません。その中で異常の早期発見をするために、些細な兆候も見落とさないよう細心の注意が必要です。初めは業務内容など覚えることが山積みで、余裕のない毎日でしたが、徐々に患者さんとの関わりの中で看護師としてのやりがいを感じるが増えてきました。鎮静剤を投与し意思疎通がとれない患者さんであっても、その患者さんの生活背景を情報収集し、できる限り元の生活に近い環境を整えるなど、一人一人のニーズを考えて看護を提供するように心がけています。

ICUのスタッフの先輩方は後輩思いの方が多く、仕事が残っていれば必ず手助けに入ったり、不明なことがあれば理解できるまで丁寧に教えたりしてくださいます。そのおかげで私も少しずつ成長し、自信をもって仕事をする機会が増えました。私自身も入職した後輩の支えになれるように頑張りたいです。プライベートでは同期と日常のことを話し合ったり、車を購入しドライブしたりしてリフレッシュすることも大切にしています。

また、ICUのスタッフは特定行為研修を受講して

いる看護師が多くいます。特定行為とは、診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる行為です。ICUでは患者さんの状態を見極め、タイムリーな対応が特に必要となるため、特定看護師の活動は非常に重要となります。私も早期育成・長期履修制度を活用しています。特定看護師になることを念頭に置き、早く一人前の看護師になれるよう頑張ります。最後までお読みいただきありがとうございました。



星の向こうまで



安藤 光子 (元教員)

私は、今から25年前に臨床看護学講座の助教を5年務め、その後附属病院で精神看護専門看護師として卒業生の皆さんと共に働いていました。還暦の前に転機が訪れて、2020年に滋賀医科大学を退職したタイミングで、皆様にお便りできることを幸いに思います。

人が生まれて60年経つと十二支と十干の組み合わせが一巡し「生まれたときと同じ暦に還る」還暦、人生の暦が新品になると考えるとうれしいですね。占星術によると地球にも節目があるようです。木星と土星が接近を繰り返す20年を束とした約200年刻みを「時代の節目」としていて、産業革命に始まったお金とモノの「物質主義」であった「地の時代」が終わり、情報やテクノロジー、自由や個性、柔軟さへと価値観と社会構造が変わっていく「風の時代」になると言われています。

看護学科が開設された1995年頃に一家に一台の固定電話は、まるで体の一部のようなスマートフォンに変わり、2021年末には民間宇宙旅行のニュースが流れました。テクノロジーの進化を実感する一

方で、世界から紛争はなくなり、日本では2万人を超える自殺者がおり、殺人事件の半数は家族間で起きています。精神看護は社会の進化に貢献できているのか、精神的な発達とは何かを考えさせられます。認識構造の発生と発達を研究したJ.ピアジェは、相手の立場で想像できない“自己中心性”と目立つ部分にばかりに意識が向く“中心化”を子どもの認識の特徴としました。他者の視点を含んだ論理的思考を7～11歳頃に獲得し、その後も知性は高度に発達していくことができると言います。しかし、私たちは成人してからも自分の視点に固執した幼児の認識に容易にもどり、損得に囚われ、互いに傷つけ合うことを繰り返しているように思います。

幼児的思考に引きずられそうになる時、空を見上げてみませんか。雲の色、月の満ち欠けを眺め、星の向こうにある世界を想像するように視点をあげてみると、私たちの知性が動き出すかもしれません。それぞれの持ち味を活かしあう社会へと向かうことを願いながら、皆様と共に「風の時代」を体験し、いつか再会できる日を楽しみにしています。

看護 交流会



看護学科交流会

—e-learning を用いて—



令和3年：看護学科交流会

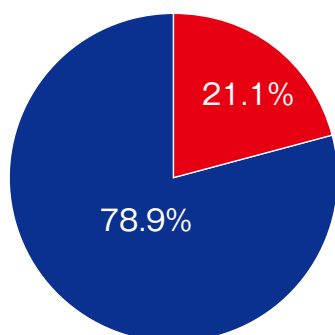
4月下旬から5月にかけて、卒業生の先輩方に資料を作成していただき、e-learning上に掲載するといった形で交流会を行いました。昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、先輩方と直接お話しすることはできず残念でしたが、有意義な機会となりました。

今年は6名の先輩方が協力してくださり、就職活動・国家試験対策・就職後のエピソードに関するお話を知ることができました。病棟看護師、訪問看護師、行政保健師、産業保健師、助産師といった様々な場で働かれている先輩方からアドバイスをいただき、今後のイメージを持てるようになりました。

交流会実施後のアンケートでは、以下のような意見が寄せられました。

1. 交流会の時期は適切でしたか？

19件の回答



●はい

就職活動を始めようと思ったから
徐々に自分の将来について考え始める時期であったため
就職や進路選択が気になりだした時期だったから
就活や国試勉強にちょうど良かったから

●いいえ

就活準備に入る前・就活が始まる前が良い

人によっては、就職活動が始まったり終わったりしていたので、もう少し早い時期の方が良かったという意見がありました。参加した学生からの感想は、右の通りです。自分の将来を考える上で参考になり、参加して良かったという声が多く寄せられました。



- ・今まで得ることがなかった情報を詳しく知ることができたのがとても良かった。
(保健師として就職された方が実際に行った試験対策や面接について、就職に関する経験など)
- ・実体験を伴った資料で、より詳細に今後の就職や進学といった選択肢について考えることができた。
- ・卒業された先輩の生の声を聞くことができたのが良かった。
(大学生のうちにどのような志を持って勉強したらいいか、課外活動により得られることなど)
- ・就職した後、職場でどのようなことをされているかを知れたことが、今後の参考になった。
- ・国試でどのような勉強をされたのかなど、何もわからなかったので参考になった。
- ・わかりやすく、ありがたかった。
- ・コロナの状況が落ち着いたら、実際に対面での懇談会に参加してみたいと思った。

交流会実施にあたってご協力いただき、ありがとうございました。

看護学科交流会班一同



大学内、看護学科棟とともに 少しずつ変わってます！

看護学科常任理事

津田 知子 (看1期: 公衆衛生看護学講座)
山下 敬 (看5期: 基礎看護学講座)

山下: いつもお騒がせてます常任幹事の山下です。コロナ禍を受けて、看護学科棟や大学の中も少しずつ変わってきました。今日はその辺を少しご紹介したいと思います。

津田: 同じく津田です。よろしくお願いします。

滋賀医科大学キャンパスマップ (HPより拝借)



津田: まず、福利棟の前 (元ピロティ) のところに、【エントランスステージ】ができました。上の地図でいうと、⑤ (福利棟) の北側、元々は生垣とか木が植えられていたスペースですね。

山下: ライトアップされてますね! 西門駐車場から入ってきたら、最初に目に入ってくる感じですね。

津田: 今年度は開催されませんでした、浜医戦のセレモニーとか若鮎祭のイベントとかにも使えそうですね。

山下: 昔は学祭の時に移動動物園が来ていたスペースでしたが…。ずいぶんきれいになりましたね。ピロティでは、大学入試の合格発表の時、先輩に胴上げされた思い出が…。あのピロティはもう無くなったんですね。



エントランスステージ

津田：ピロティ、という形では無くなりましたね。時代の流れを感じます。そしてそのエントランスステージの隣には、【学生ラウンジ】ができました。

山下：机や椅子がたくさん置かれていますね…自習室みたいな、勉強するためのスペースですか？

津田：以前のアンケートで、勉強のできるスペースが少ないという意見が多かったみたいです。PCやコピー機も置かれていますし、電源もたくさんあるので、テスト前に限らずここで勉強している学生さんは多いですねPCを広げてレポート書いている学生も多いですね。

山下：結構広いですし、今はコロナでできませんが、部活やサークルのミーティングとかも色々できそう。

津田：コロナで対面の授業が制限されたりしたことで、講義もオンラインで受講できるものも増えてきました。ここで授業受ける学生さんもちらほら…。これからアイデア次第で色々な使い方が出来そうなスペースですね。

山下：学生さんが部活とかサークル活動に自由に打ち込めるようになるのはいつになるのやら。早く色々な制限がなくなる日が来てほしいものですねあ…。

津田：山下君は割といつも自由にしてるんでない？

山下：あ、そうっすね。いやいや、割と自粛…（以下略）。

津田：学生ラウンジの隣には、学生課が移動してきていますよ。こんな感じで、以前は医学科事務室やロッカー室があったところ（地図では①の基礎棟1階）に、学生課が入っています。学生課は以前管理棟（⑫）の一階にありましたが、学生のアクセスしやすいところに移転されました。

山下：めっちゃ広くなりましたね～。カウンターも広くなりました。



学生ラウンジ



自習中の学生さん



学生課の入口



学生課がとても広くなりました

津田：前の通路は学生ラウンジや食堂に行く人がたくさん通るので、にぎやかですよ。

山下：僕も学生のことで学生課にはよく相談に行ったりするので、看護学科棟からは距離が近くなって大助かりです。大学院の申請などで学生課に行かれる方は、お間違えのないように！

津田：さて、看護学科棟では2階で行われておりました長期間の工事が先日終了し、大きく様変わりしましたよ。

山下：何これ。会議室？

津田：これは、多目的室になります。看護棟の2階は医学科・看護学科のオスキー（OSCE：客観的臨床能力試験）で使用できるように、小さめの部屋がいくつも並ぶ形に改装されました。

山下：この多目的室で、実習に行く前の実技試験を受けるわけですね。

津田：各試験室の様子をモニターで見えることもできるし、全体に一齐に指示を出すこともできるようになっていくみたいです。

山下：そういえば、今は臨床看護学実習の領域別の控え室になってましたね。

津田：多目的室も、その名の通り色々な使い方ができます。医学科みたいに、アルバム班とか国試班、みたいに勉強部屋として使うようになるかもしれませんね。

山下：そういえば、今も大学内は色々なところで工事が行われています。

津田：滋賀医科大学は、2024年に開学50周年を迎えます。それに向けて整備が進められている最中ですね。

山下：学生食堂や中庭のリニューアルも計画されていると聞きました！

津田：50周年に向けて、色々な事業が始まっています。看護学科ももうすぐ30周年ですので、どんどん情報発信できるように頑張っていきます！

山下：以上、学内からお伝えしました！ありがとうございました！



多目的室



モニタールーム

訃報

謹んで哀悼の意を表します。

令和3年11月6日

竹尾 恵子 先生(元教員)

2021年度「湖医会」総会 議事録

日時 2021年10月2日（土）14：00～15：20

場所 マルチメディアセンター 会議室

本年度総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンライン会議で実施

議 題

1. 2020年度事業報告・決算について 原案(資料1-1、1-2、1-2(1)(2))のとおり承認された。
2. 2021年度事業計画・予算について 原案(資料2-1、2-2)のとおり承認された。

※各資料は {湖医会} HPを参照

湖医会ポータルサイトのご案内

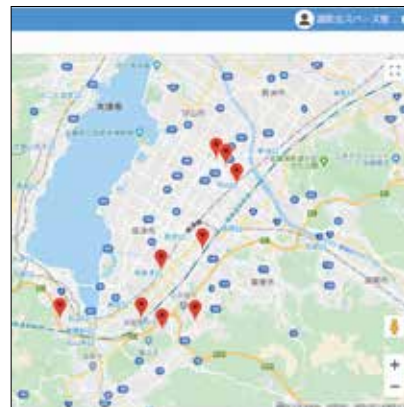
地図機能により表示に同意いただいている湖医会会員の勤務先を検索できます!!

登録がまだの方は是非登録をお願いします!!

配布のID、パスワードがご不明な方は、ご連絡ください。

●問い合わせ

e-mail : koikai@koikai.org



会員の現況 (1/1現在) 総数 6,805名

- | | | | |
|-------|---|-------|-----|
| ●卒業会員 | { (学部) 5,663名 (医学科 4,045名、
看護学科 1,618名)
(大学院) 16名 | ●学友会員 | 99名 |
| ●学生会員 | 962名 (学部：939名、博士：14名、
修士：9名) | ●特別会員 | 65名 |

会費納入のお願い

看護学科は終身会費制 終身会費 20,000円!

これまでに20,000円以上を納入されている方は、終身会員となっています。

20,000円に満たない方はその差額を納入された時点で終身会員となります。

終身会員でないと、広報誌や卒後10年・20年の同期会の案内などがお届けできないことになります。

詳しくは、湖医会事務局までお問い合わせください。

名前・住所・勤務先・メールアドレス等が変更になった場合は、メールまたはファックスで事務局までご連絡ください。

